

ゆとろぎ通信

2009年12月1日発行
通巻15号

Vol. 7

■発行：羽村市教育委員会 ■企画・編集：羽村市生涯学習センターゆとろぎ／ゆとろぎ協働事業運営市民の会



私が会長を務めております落語芸術協会は、平成22年より「ゆとろぎホール」にて寄席公演を行います。これまでもご当地は落語会を開催するなど、寄席演芸への関心が高いそうですが、お客様の中には落語会と寄席の違いをお尋ねになる方がいらっしゃいます。落語会とは文字通り落語だけですが、寄席とは落語以外にも漫才・曲芸・奇術など様々な演者が出演してお客様のご機嫌をうかがうものです。羽村のみなさんには、これを機会に寄席の魅力をお感じください。たくさんのご来場をお待ちしております。

社団法人 落語芸術協会会長
桂 歌丸

新装開演

ゆとろぎ寄席

テケ、テンテンテン……



桂 平治



マジック・ジェミー



桂 米福



笑福亭羽光

ゆとろぎが開館して以来、数多くのお笑いファン・落語愛好家のみなさんにお楽しみいただいております「ゆとろぎ寄席」が装いも新たに再登場します。これまでのゆとろぎ寄席は、主に二つ目の噺家さんを中心に、真打ちでも昇進して日の浅い若手の中から、将来名人に成長するだろうとおぼしき噺家さんを発掘し、ゆとろぎの高座を踏み台に提供して育てよう、というコンセプトでしたが、今回から落語芸術協会（桂歌丸会

長）の全面的なご協力を得て、熟練若手と幅広く落語や講談、演芸の面白さをみなさんに味わっていただくという趣向です。若手はもちろんのこと、テレビでお馴染みの噺家さんや講師さん、芸人さんが年4回のゆとろぎ公演に登場してくれます。さてさて、「新・ゆとろぎ寄席」はどんな高座を楽しめるのでしょうか。新生なったゆとろぎ寄席に、是非、家族揃ってお運びください。

お様がおらうぞ……

■出演者■

前座 笑福亭羽光
真打 桂 米福
——中入り——
奇術 マジック・ジェミー
真打 桂 平治

日時 1月24日(日)
開場午後2時／開演午後2時30分
会場 ゆとろぎ小ホール(全席自由)
入場料 〈前売り〉 一般1000円
〈当日売り〉 一般1200円
高校生以下 500円
※チケットは「ゆスマ」にて販売中
※「保」未就学児は入場できません。一時保育(有料・要予約)があります。



1年は早いものですね、2009年も残りわずかとなりました。今年もさまざまな形でゆとろぎをご愛顧いただき、心からお礼を申し上げます。ゆとろぎはみなさまのお役に立つことができたでしょうか。みなさまに喜んでいただけたでしょうか。来年は、さらに知恵を集めて今年以上に充実した事業をご提供できるよう、関係者一同、がんばりますのでご支援ご協力をよろしくお願いいたします。ということで、早々と、来年1月から3月に開催される展示と講座事業のいくつかをご紹介します。



第7回最優秀賞（日本カメラ社賞）受賞『蘭玉飾りの頃』（撮影：加藤賢斉氏（羽村市））

「魅力あふれる西多摩の自然や文化を写真で捉え、その成果を広く発表し、西多摩地域内外の文化交流を促進し、地域の発展に寄与する」を趣旨に第8回目を迎えた『西多摩再発見フォトコンテスト』の入選作品展が1月12日（火）から17日（日）、ゆとろぎ展示室で開催されます。このフォトコンテストは、「私の好きな西多摩の風景・催事・今昔（組み写真）、花・鳥・昆虫（場所が西多摩とわかるもの）」をテーマに、小学生以上の人ならばプロ・アマを問わず、誰でも応募が可能。審査委員長は河野和典（株式会社スタジオレイ代表・日本カメラ社編集顧問）、審査員は石川彌八郎（石川酒造会長）、岡野法世（陶芸家）、並木恒延（漆芸家・日展評議



NISHITAMA 百景写真展特別企画

織作峰子に学ぶやさしい写真教室

1/17 日 13:30～15:30
ゆとろぎ講座室1
定員先着80名（入場無料）

1/12火～17日

10:00～18:00 / ゆとろぎ展示室（入場無料）
※初日は14:00開場・最終日は16:00閉場

第8回西多摩再発見フォトコンテスト NISHITAMA百景写真展

主催/西多摩日報写真展実行委員会
後援/羽村市教育委員会

「魅力あふれる西多摩の自然や文化を写真で捉え、その成果を広く発表し、西多摩地域内外の文化交流を促進し、地域の発展に寄与する」を趣旨に第8回目を迎えた『西多摩再発見フォトコンテスト』の入選作品展が1月12日（火）から17日（日）、ゆとろぎ展示室で開催されます。このフォトコンテストは、「私の好きな西多摩の風景・催事・今昔（組み写真）、花・鳥・昆虫（場所が西多摩とわかるもの）」をテーマに、小学生以上の人ならばプロ・アマを問わず、誰でも応募が可能。審査委員長は河野和典（株式会社スタジオレイ代表・日本カメラ社編集顧問）、審査員は石川彌八郎（石川酒造会長）、岡野法世（陶芸家）、並木恒延（漆芸家・日展評議

員、村山利夫（映像プロデューサー）の各氏。協賛企業に西多摩を代表する企業が名を連ね、西多摩最大規模の写真コンテストです。

2009年度の募集は11月末に締め切られ、目下、審査委員による厳正な審査が行われています。12月中旬に全応募作品の中から入選作品100点が選ばれ、入選者には通知されます。写真展の最終日には、最優秀賞・優秀賞・部門別特別賞・来場者による人気投票などが決定され、受賞者に表彰状と副賞が贈られます。また、女流写真家として活躍中の織作峰子氏をゲストに迎えて、特別イベント「織作峰子に学ぶやさしい写真教室」も開催されます。

織作峰子さんは石川県生まれ。学生時代に友人が送った写真がきっかけで、1981年度ミスユニバース日本代表に選ばれ、その任期中に写真家の大竹省二氏と出合い、翌82年、大竹省二写真事務所に入社。5年間のアシスタントを経て、87年に独立。以来、独特の優しい視線で世界各国の美しい風景や人物の瞬間を撮り続け、全国で写真展を多数開催し写真集も数多く出版。現在、大阪芸術大学写真学科教授として指導にあたるかわら、テレビ出演や講演に幅広く活躍しています。

当日は、西多摩再発見フォトコンテスト審査委員長の河野和典氏とトーク形式で織作流の写真テクニックを楽しく語っていただく予定です。先着80名ですので、お聴き逃しのないようにカレンダーにチェックを！

■アート展■

ゆとろぎ所蔵作品展

1/20水～24日

10:00～17:00（最終日は16:00閉場）
ゆとろぎ展示室（入場無料）

羽村に生まれ羽村で育ち、こよなくアートを愛した故中根喜七郎氏が遺した約160点の寄贈作品の中から、“宇宙の愛のメッセージ”を青と金を基調にして描いた堀本恵美子氏の作品を中心に約40点の抽象画を展示します。

大野美代子展



「転地」

いのち
生命合成から宇宙まで

大野美代子さんは、20代の頃から生命をめぐめる環境や、生命科学などの問題を見つめながら制作を続けている洋画家です。93年日仏現代美術展アカデミー・テ・ボザール賞をはじめとして、95年自由美術展平和賞、93・94・01年多摩秀作美術展佳作賞、95年同展準大賞などを受賞。これまで新宿紀伊國屋画廊や銀座アートホールほかで8回の個展を開催するなど、精力的に活躍中です。1950年北海道生まれ。自由美術協会会員。TACネットワーク会員。

3/3水～14日

9:00～22:00
（最終日は16:00閉場/月曜日休館）
ゆとろぎ展示室（入場無料）

連載 私の生涯学習 第9回

「キーボードバンドサークルの新人に、ゆとろぎ近くの中華料理店のおじさんがいるんだよ」と聞いて会いに行った。60代後半になって、キーボードを初歩から習おうと思うそのおじさんの原動力は何なのか？人生のすべてのステージで、学びたいことを学ぶ、「生涯学習」の原点を考えるお話です。



高橋武治さん 昭和17年秋田県横手市生まれ。中学卒業後上京。中華の料理人として修業を重ね、羽村に中華料理店を開店して30年になる。今春から団塊世代のキーボードバンド「メリーメロー」に参加。

仕事は一筋、趣味は多彩。今年始めたキーボードの面白さにはまった中華の料理人

高橋武治さん (67歳)

さっそくの質問
——キーボードバンドに参加しようと思ったきっかけは？
「女房が、ゆとろぎ通信の記事を見て『行ってみれば』って...」
——以前から習いたいと思っていた？
「特にそういうわけでもないけど、音楽は好きですよ。歌を習ったこともあるし、若いころにはギターも少し」
——じゃ、楽譜もバッチリ？
「いや、そんなことはないんで、難しいですよ。一人で練習してちよつと弾けるようになったかなと思っても、みんなとやると合わなかったり、しばらく間が空けば忘れちゃうしね」
——でもおもしろいよ」と言う高橋さん。何えはこれまでの人生で、いろんなことに挑戦してきた経歴をお持ちのようである。

中学生の頃は野球部だったので、40歳くらいまでは社会人の草野球チームでプレイ。20代には混声合唱団に所属していた。新聞の団員募集記事を見て行ったところ、教会で毎週練習するとて本格的なところだった。50代で始めたテニスが15年。ゴルフ歴も4〜5年だとか。独身の頃は、俳句もかじったが、これは向かないと思ってやめた。民謡を習ったこともある。カラオケが

全盛期を迎える以前、宴会のときに手拍子で歌えるようになりたいと思ったから。
こんな多趣味な人は余程のヒマ人か、恵まれた家庭で育ったボンボンか、と思ったが、そうではなかった。
農家の次男坊
高橋さんは、第二次世界大戦のさなか、雪深い秋田県横手市の、農家の二男として生まれた。家を継ぐ長男以外は、外で仕事を見つめるのが当たり前の時代だった。中学卒業と同時に15歳で上京した。
「上野駅にひとりで着いたとき、雨が降って真つ暗でね。東京って、もつと明るい、都会じゃなかったのか？って、心細かったね」
葛飾のおもちゃ工場に住み込みで働くこと1年。どうも自分には合わない、と、仕切り直して今度は、板橋の中華料理の食堂に。やはり住み込みで下働きから始め、見習いが順番に作る賄い飯で田舎の塩っぱい味付けを修正し、先輩の技を見習い、修業を重ねた。
ときは高度経済成長の時代、板橋近辺の人口は急増し、店は次々に支店を増やし、銘店街の店舗を任されるまでになり、20代半ばで独立。東大和に自分の店を開業した。その後、道路事情の変化や第二次オイルショックなど、世間の荒波の中で料理人としての研鑽と経営者としての苦労を重ねながら店を大きくしてきた。

料理の勉強に終りはない

聞けば聞くほど、毎日が一所懸命で、持て余すヒマなんかなさそうな人生である。

「でも、客商売は平日に休みがとれるし、けっこういろいろできるんですよ。なにかやっていると、その仲間に誘われて別のことにも手を出したりね」とはいえ本業の方も、営業時間内だけ仕事をすればいいというものではない。

く、閉店後の深夜、定期的に中華料理の先生を招いた勉強会に参加し、本場の味を勉強するため台湾にまで出かけ、それに加えての早朝野球や休日デニス、音楽修業である。
「中華料理にも流行があるし、ひと通り覚えて一人前になったからといって、勉強は終わることはない」と仕事も趣味も、手抜きなしの一本勝負なのである。
隠居はまだ先
他店で修業を積んだ長男、IT企業からの転身で経営等を担当してくれている三男を加えての家族経営で、そろそろ楽隠居できそうな今も、
「この頃、独学で菓子作りにも挑戦中。これまたなかなか思うようにはできないけど」
好奇心はいくつになっても尽きないようだ。いったい「学ぶ」とはどういうことなのか、考えさせられた。『勉（つと）めて強（し）いて』とさせられる勉強は、残念なことにより身につかないことが多い。

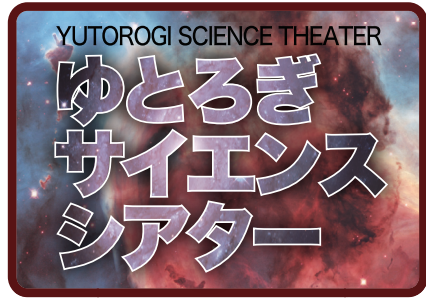
自分の力をつけるために、自分の可能性を広げるために、自らの意志で選んだ何事かに取り組むとき、人は本気で学び、その成果を成長として実感することができると。

「インタビューを終えて」
「キーボード、うまくできりや嬉しいし、だからと言って人前で披露するのはまだまだ恥ずかしいんだよ」と笑う高橋さん。「大人の初心者もOKっていうピアノの先生のところは、今度、通おうかと思っている」とも。本業であれ、趣味であれ、今の自分より成長したいと思う気持ちを持ち続け、行動に移していく高橋さん。生涯学習には、境遇も年齢も関係ない。
（取材：江久保千英／撮影：平田栄一）



昆虫写真家・栗林慧^{さとし}氏の講演会と写真展

草むらの宇宙



講演会

2010年2月27日(土)
10:00～12:00
ゆとろぎ大ホール(入場無料)

※講演会の受講申込みを1月27日(水)から
☎もしくは直接ゆとろぎ窓口で受け付けます。

写真展

サイエンス・フォト・ギャラリー
2010年2月19日(金)～27日(土)
10:00～17:00(最終日は16:00閉場)
ゆとろぎ展示室(入場無料)



栗林 慧(くりばやし・さとし)氏 1939年、中国大陸生まれ。陸上自衛隊、保険会社勤務の後、1969年、生物生態写真家として独立。アリをはじめさまざまな昆虫を独自の視点と技術で撮り続けていた。2000年、自分で改造したビデオカメラで撮影した作品、『草間の宇宙』で第41回科学技術映像祭内閣総理大臣賞を受賞。2001年、週刊現代ドキュメント写真大賞ネイチャー・フォト部門賞受賞。2006年、科学写真のノーベル賞といわれるレナート・ニルソン賞受賞。2008、年学術、芸術上の発明・改良・創作に関する功績者として紫綬褒章を受章。長崎県在住。

3回目を迎えた「ゆとろぎサイエンス・シアター」は、前回までの「大宇宙の旅から」一気に地球に舞い戻って、ミクロの世界へご案内します。そこはどこにある、私たちのすぐ足元の「草むら」です。

「草むら」は私たちにはありふれた場所ですが、雑草を分け入って特別なレンズで覗いてみると、アリ、バツタ、ケムシ、テントウムシ、カブトムシなどなど、さまざまな小動物が雑草の「巨大な森」の中を往来し、懸命に生きている姿に出会えます。肉眼では観ることのできない宇宙と同じくらいに、不思議と驚きのワンダーランドが広がっています。

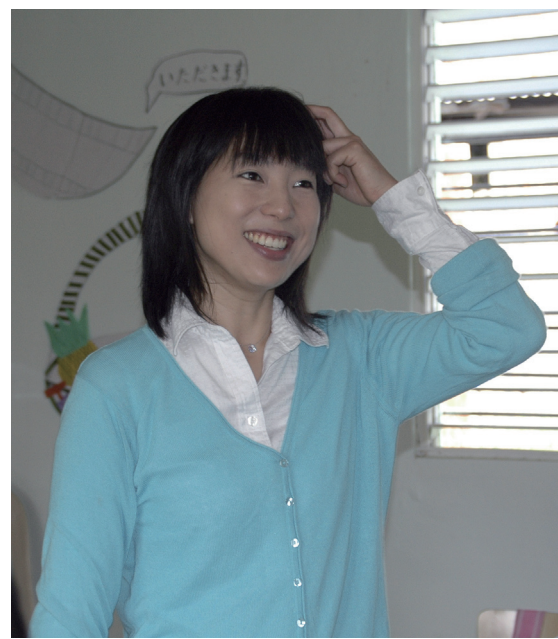
栗林慧氏は昆虫写真家の第一人者として世界に知られています。充分な撮

影機材がなかった時代に、栗林氏自身が制作し改良を重ねた特殊なカメラとレンズを駆使して「アリの目線」でとらえた画像・映像はまさに「栗林ワールド」と呼ばれ、そこに収められた、昆虫や植物が自然の中でいきいきと活動する姿は、科学性と芸術性兼ね備えた作品として、各界から称讃されています。

講演会には栗林氏を講師に迎えて、DVD映像やスライド写真を鑑賞しながら、昆虫の生体や撮影にまつわる興味深いお話をうかがえます。定員600名。未就学児も入場できます。小学生以下は保護者同伴か送迎をお願いします。受講希望者は1月27日(水)以降に電話もしくは直接ゆとろぎ窓口で事前申込みをお願いします。

また、「栗林ワールド」を間近にじっくりと堪能していただけるように、写真展も同時に開催します。そのほか、当日お楽しみ企画も準備しています。

視点を変えると見えてくる異次元世界の面白さをおたのしみください。



ドミニカ共和国のラ・ペーガという町の日本語学校で日系の子どもたちを教えていた青柳有佳さん。羽村市在住。(撮影/村山利夫)

毎年、10月の初旬に『グローバルフェスタ』というイベントが日比谷公園で開催されているのをご存知でしょうか。このイベントは外務省、JICA(独立行政法人「国際協力機構」)が日本の民間海外支援団体やNPO団体などに参加を呼びかけて、日本の海外協力事業を広く国民に知ってもらおうと行われています。今年で8回目を迎え、海外支援活動に関心を持ったたくさんの方で賑わいました。その中で際立っていたのは若者の多さでした。

現地の子どもたちに日本語や日本文化を教えていました。それ以前には、羽村市内で日系の子どものために支援する活動に携わっていたこともあり、「子どもと教えることが好きなんだろう」とも教えることが好きなんだろう。人手が足りない、必要とされるところで、日系の子どものための支援を続けたい」と語っていました。今回の「サロンでトーク」では、ボランティア活動中の写真や資料をもとに、ボランティアの苦労や楽しみ、喜び、あるいは驚いたこと、などなど貴重な体験を語っていただくことになっています。

世界をもっと知りたいと思っている方はもちろんのこと、海外ボランティアを志している方にも役立つ情報がたくさん聞けそうですね。青柳さんに質問してみてください。

海外ボランティア体験談

●2月11日(祝・木) 午後2時～4時
●ゆとろぎ講座室1(入場無料)

サロンでトーク

あおやぎ

青柳有佳さんの

受講生を50歳以上の中高年男性に限定した講座が始まります。

羽村市に長年住んでいるにもかかわらず、地域での交流をもていなかった男性を対象に、定年後の生き方を見直すヒントを様々な角度から紹介し、講座を通して、地域での居場所づくりや仲間づくりにつなげていこう、というのがこの講座の趣旨です。

講座の第1日は、さまざまなライフスタイルを考えながら、自らの生き方を見直し、人生を楽しむヒントを学びます。2日目は、元気にシニアライフを過ごすための心と体の健康についてのアドバイスと実践方法を学びます。最終日は、「そば打ち」

あなたとは定年後の長い人生をどのように過ごすかと思っていますか。

「趣味も楽しみもない」

「地域に親しい知り合いも友だちもない」

「定年後になにをして過ごしたらいいのかわからない」

こんなことを思っている方、思い切った「一歩」踏み出してみませんか。

■羽村市体育協会と市民活動・ボランティアセンターはむら連携事業

中高年のための地域活動入門 人生を楽しむ極意

	開催日時	内容	開催場所	定員・受講料
第1日	2010年 2月7日(日) 10:00～12:00	「人生を楽しむヒント」 講師：宮本厚士氏 (シニアライフアドバイザー)	ゆとろぎ2F 講座室2	●定員20名 (50歳以上の男性) ●受講料 材料費込み 1500円 (全3日分)
第2日	2月21日(日) 10:00～11:30	「心と体の健康」 講師：堀松英紀氏と スポーツトレーナー	ゆとろぎB1F リハーサル室	
第3日	3月7日(日) 10:00～15:00	「そば打ち講座」 講師：島田辰雄氏	コミュニティセンター2F 調理研修室	

※受講希望者は往復ハガキに講座名・氏名・住所・年齢・電話番号を明記して、ゆとろぎへ。
1月29日(日)必着。
※受講料は全3回で1500円です。講座初日に一括で納入していただきます。
※お問合せは、ゆとろぎ事務局 ☎042-557-0707 でお受けします。

宮本厚士氏 1938年生まれ。広島大学工業部卒業後、出光興産(株)に入社。人事部生活設計相談室長を最後に58歳で早期退職。退職後は友人と定年(早期)退職者の活躍事例を調査(取材・執筆)してきた。現在は、「定年前後の生き方(50歳代からの意識改革)」をテーマにして講演、執筆、個別相談、TV・ラジオ出演など活躍中。



ボランティア入門講座 (協力) ■市民活動・ボランティアセンターはむら 翼の会 ■羽村日本語学習会

「日本語教師ボランティア」入門 (全4回)



嵐洋子先生 成城大学文芸学部英文学科卒業。横浜国立大学大学院教育学研究科(日本語教育研究専修)修了。MA Linguistics and English Language, University of Durham (英国)留学。大阪大学大学院文学研究科博士(文学)。関西外語専門学校、龍谷大学、追手門学院大学等で非常勤講師。2005年4月より杏林大学講師(中国語・日本語学科・日本語教育学コース)。専門は日本語音声学、日本語教育学。

新企画「ボランティア入門講座」は、さまざまなボランティア活動の内容を具体的に紹介し、実践につなげていくことを目的としています。

その第1回のテーマは、中高年はもとより大学生、社会人にも関心の高い「日本語教師ボランティア」です。

「日本語教師」の役割は、日本語を母語としない外国籍の人に日本語を教えることですが、教える場がボランティアの場合、その多くは特に資格を必要としません。日本語の知識を持ち、不自由なく使いこなすことができれば、だれでも日本語教師になることができます。

そこで、講座の第1回では、杏林大学の嵐洋子先生を講師に迎えて、日本語の面白さや日本語を教える側が知っておくべきこと(「日本語」と「国語」の違いとか、日本語の発音と外国語の発音の違いなど)、学習者(外国籍の人)が戸惑いやすい事柄や誤解しやすい事柄、学習者と接する際の注意すべき事柄などを実例や先生のご研究の成果を基に講演していただきます。入場は無料。この回だけの聴講も可能です。

第2回の講座は、日本語教師の資格を持ち、実際に日本語を教えている野島佳代先生を講師に迎えて、受講者自身が外国人になったつもりで、日本語学習の実際を体験します。

その後、市内で活動している日本語ボランティア団体の学習現場におじゃまして、外国籍の方々がどのように日本語を学んでいるかを見学します。第2回以降は有料です。日本語教師の実際をさらに知りたい方は2回目以降も受講をお勧めします。

羽村市には現在、約1600名の外国籍の方が住民登録をしています。その中には、日本語の読み書き、会話ができず、不自由な思いをしている人が少なくありません。身近なところで日本語を教えられる人が求められています。あなたも日本語教師ボランティアに挑戦してみませんか。

野島佳代さん 1998年、台湾省嘉義市先達外語機構日本語科非常勤講師。2004年、東京中華学校日本語科非常勤講師。01年から羽村日本語学習会でボランティアとして活動中。青柳市在住。

	開催日時	内容	開催場所	定員・受講料
第1回	2010年 1月29日(金) 13:30～15:30	「日本語教師入門」 講師：嵐洋子氏 (杏林大学外国語学部)	ゆとろぎ2F 講座室1A	定員40名 入場無料
第2回	2月5日(金) 13:30～15:30	「日本語学習を体験」 講師：野島佳代氏 (日本語教師)	ゆとろぎ2F 学習室1	定員10名 1人500円 (第2～第4回分)
第3回	2月6日(土) 10:00～12:00	「日本語教室を見学①」 (協力：羽村日本語学習会)	福祉センター1F 大会議室	
第4回	2月18日(木) 10:00～12:00	「日本語教室を見学②」 (協力：翼の会)	コミュニティセンター2F 視聴覚室	

※受講料は第2回～第4回で500円です。第2回の受講時に一括で納入していただきます。
※第1回のみの受講申込みは、12/16(水)午前9時からゆとろぎ事務局 ☎042-570-0707 でお受けします。
※第2～4回の申込みは、往復ハガキに講座名と住所・氏名・年齢・電話番号を明記してゆとろぎへ。
1月22日(金)必着。申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

12月～3月のイベントガイド

※本欄に記載の事業は計画段階のものも含まれています。諸般の都合により、開催日を変更または取りやめることもあります。詳しくは「ゆとろぎイベントガイド」(毎月15日発行)あるいは「広報はむら」などをご参照ください。
※ゆとろぎは祝日を除く月曜日が休館日です。

	12月		2010年1月		2月		3月	
芸術鑑賞	●12/12 羽村市特別学級発表会 舞台発表の部	◆12/16 神津善行音楽文化講座 第3回 『歌手生活 50周年を迎えた菅原洋一さんを招いて』			◆1/20 神津善行音楽文化講座 第4回 「何故『琵琶語り』が面白いのか…についての講座と実演」			3/28 ● 羽村第3中学校吹奏楽部 卒業記念演奏会
	●12/13 11 弦ギターデュオ 「十和 (TOWA)」	●12/23 人形劇団ブーク 『ちびっこカムのぼうけん』			●1/24 新ゆとろぎ寄席 (落語3題とマジック)	◆2/28 子ども芸能体験ひろば		
		●12/13 子ども映画会	●12/19 ゆとろぎ映画劇場	●1/10 子ども映画会		●2/14 子ども映画会		●3/7 子ども映画会
展示	●12/4～8 羽村市小学校 絵画展	●12/11～15 羽村市特別支援学級作品展	◆1/12～17 第8回西多摩再発見フォトコンテスト NISHITAMA 百景写真展	●1/20～24 ゆとろぎ所蔵作品展 (中根喜七郎寄贈作品より)	●2/27 サイエンス・シアター 『草むらの宇宙』 ゲスト・栗林慧さん (昆虫写真家)	●2/19～27 サイエンス・フォト・ギャラリー 栗林 慧 昆虫写真展	●3/3～14 大野美代子展 いのち 生命合成から宇宙まで	
	●12/4・18 子育て中のお母さんのための講座 『絵付けで my 食器』		◆1/17 ＜特別企画＞ 織作峰子に学ぶ やさしい写真教室	◆2/2 ドキュメンタリー映画 『bloom』 上映会&交流会				
	●12/10・24 楽しく創る短歌入門			●1/14・28 (最終回) 楽しく創る短歌入門	●2/11 <サロンでトーク> 海外ボランティア体験談 ゲスト・青柳有佳さん			
講座・教室					●1/21・28 ちよこっと体験工房 「のし袋の常識と書き方」	●2/9・16 ちよこっと体験工房 「スクラップ・ブックキング」		
		●12/19 撮った後も楽しもう！ デジタルビデオ・DVD・ 写真活用入門		●1/29・2/5・6・18 日本語教師 ボランティア入門		●2/7・22・3/7 人生を楽しむ極意		
	◎12/6 羽村フィルハーモニー ウインターコンサート		◎1/10 サロンコンサート 琴の調べ	◎2/7 第8回 はむら音楽祭	◎2/10 サロンコンサート 声楽 (テノール独唱)			
文化協会				■1/22・29・2/12・26 ボランティア養成講座 「ストーリーテリング」 (全4回)				
図書館				■1/23 とん汁とスモークチキン作り				
はむすぽ								
市民イベント		■12/18～20 薫風会 展覧会	■1/8・15・22・29 パソコン教室 「名刺の作成」		■2/5・12・19・26 パソコン教室 「シールラベル 宛名印刷」		■3/5・12・19・26 パソコン教室 「シールラベル 宛名印刷」	■3/23～28 墨水会 書道展
		■12/20 音楽フェスティバル in ゆとろぎ		■1/10 響けマリンパ ニコニココンサート		■2/10～14 川島潤展 GO!GO! モーターサイクル	■3/21 ネクストウィンドー オーケストラ	■3/25 都立青梅総合高等学校 吹奏楽部定期演奏会

●羽村市教育委員会主催／◆羽村市教育委員会共催・後援・市民の会協力／◎羽村市文化協会主催・後援／■その他



(撮影／平田栄一)

ゆとろぎで行う羽村市教育委員会主催の事業のほか、市内の公営団体が主催するイベントや社会教育関係団体の情報をお届けします。羽村市教育委員会が主催・共催・後援するコンサートのチケットは下記で取り扱っています。

- ゆとろぎチケットカウンター (月曜日休館) 9:00～17:00 ☎ 042-570-0707
- 羽村市スポーツセンター (月曜日休館) 9:00～17:00 ☎ 042-555-0033
- マルフジ青梅・羽村・福生市内9店舗のサービスカウンター
- 西多摩新聞社チケットサービス ☎フリーダイヤル 0120-61-3737

※コンサートあるいは「一時保育 (有料・要予約)」の申込み・問合せは、ゆとろぎへどうぞ。
※各イベントに関する問合せは、各主催者へお願いします。



ゆとろぎ

芸術鑑賞

- 11 弦ギターデュオ
「十和 (TOWA)」 「コンサート」 ゆ
- 12/13 (日)、開場午後6時・開演午後6時30分。ゆとろぎ小ホール (全席自由)。(前売り)2000円 (大人)、子ども共通・当日売)2500円。未就学児の入場はできません。一時保育あり (有料・要予約)。
- 神津善行音楽文化講座 第3回 ゆ
「歌手生活50周年を迎えた菅原洋一さんを招いて」
- 12/16 (水)、開場午後1時・開演午後2時。ゲスト・菅原洋一さん。ゆとろぎ大ホール (全席自由)。一般2000円。未就学児の入場はできません。一時保育あり (有料・要予約)。
- 人形劇団ブーク公演 ゆ スマに
「ちびっこカムのぼうけん」
- 12/23 (祝・水)、開場午後2時・開演午後2時30分。ゆとろぎ大ホール (全席指定)。(前売り・当日売り共通) 一般2500円/3歳未満高校生1500円/グループ割引 (10人以上同時購入) 1人5000円引き。協力 (特) 子ども文化のNPO 子ども劇場西多摩。4歳未満の児童は保護者のひざの上なら無料。一時保育あり (有料・要予約)。
- 神津善行音楽文化講座 (第4回) ゆ
「何故『琵琶語り』が面白いかに…についての講座と実演」
- 1/20 (水)、開場午後1時・開演午後2時。ゲスト・坂田美子さん。ゆとろぎ大ホール (全席自由)。一般2000円。未就学児の入場はできません。一時保育あり (有料・要予約)。
- ゆとろぎ寄席 (○鑑) ゆ スマに
1/24 (日)、開場午後2時・開演午後2時30分。ゆとろぎ小ホール (全席自由)。一般(前売り)1000円・(当日売)1200円。高校生以下500円。未就学児の入場はできません。一時保育あり (有料・要予約)。

ギャラリー

- 第8回西多摩再発見フォトコンテスト
「NISHITAMA 百景写真展」 (○鑑) 鑑
1/12 (火) 17 (日)、午前10時～午後6時 (12日は午後2時開場・最終日午後4時閉場。ゆとろぎ展示室 (入場無料)。
- ゆとろぎ所蔵作品展
1/20 (水) 24 (日)、午前10時～午後5時 (最終日午後4時閉場。ゆとろぎ展示室 (入場無料)。
- サイエンス・フォト・ギャラリー
栗林慧写真展 (○鑑) 鑑
2/19 (金) 27 (土)、午前10時～午後5時 (最終日午後4時閉場。ゆとろぎ展示室1 (入場無料)。マクロ写真の第一人者・栗林慧 (さとし) 氏が撮影した迫力満点の昆虫写真を展示。
- 大野美代子展 (○鑑) 鑑
いのち 生命合成から宇宙まで
3/3 (水) 14 (日)、午前10時～午後5時 (最終日午後4時閉場。ゆとろぎ展示室 (入場無料)。
- 講座・教室
NISHITAMA 百景写真展特別企画
「織作峰子に学ぶやさしい写真教室」
1/17 (日)、午後1時30分～3時30分。ゆとろぎ講座室1 (入場無料)。先着80名 (○鑑) 鑑
ちよこっと体験工房
「のし袋の常識と書き方」
1/21・28 (木)、午前10時～正午。ゆとろぎ創作室1。受講料 (材料費含む) 1000円。定員25名。
「スクラップ・ブックキング」
2/9・16 (火)、午前10時～正午。ゆとろぎ創作室1。受講料 (材料費含む) 1300円。定員25名。
※各講座とも一時保育 (有料・要予約) あり。受講希望者は往復ハガキに講座名・氏名・住所・電話番号を明記して、ゆとろぎへ。
日本語教師ボランティア入門講座 (○鑑) 鑑
第1回「日本語教師入門」 (講演会) 1/29 (金)、午後2時～4時。ゆとろぎ講座室1 (入場無料)。講師・

嵐洋子先生 (杏林大学外国語学部)。

- 第2回「日本語学習体験」
2/5 (金)、午前10時～正午。コミュニティセンター学習室1A。講師・野島佳代先生 (日本語教師)。
- 第3回「日本語教室体験①」
2/6 (土)、午前10時～正午。福祉センター (1階大会議室)。協力・羽村日本語学習会
- 第4回「日本語教室体験②」
2/18 (木)、午前10時～正午。羽村市コミュニティセンター (2階視聴覚室)。協力・翼の会
- ※第2回～4回の受講料500円。
- 映画鑑賞と交流会
「bloom」生まれたのは私
2/2 (火)、午前10時～正午。ゆとろぎ講座室1 (入場無料)。母となったばかりの女性のリアルな声を集めたドキュメンタリー映画を観て交流しましょう。参加希望者は12/2 (水) 午前9時から ☎ または直接ゆとろぎへ。共催・羽村市子育て支援課。
- 「人生を楽しむ極意」 (○鑑) 鑑
第1日「人生を楽しむヒント」
2/7 (日)、午前10時～12時。ゆとろぎ講座室2。講師・宮本厚士氏 (シニアライフ・アドバイザー)。
- 第2日「心と体の健康」
2/22 (日)、午前10時～11時30分。ゆとろぎリハ・サル室 (地下1階)。
- 第3日「そば打ち講座」
3/7 (日)、午前10時～午後3時。コミュニティセンター調理研修室。講師・島田辰雄氏。
※受講料は全3回で1500円 (材料費込み)。参加希望者は往復ハガキに住所・氏名・電話番号を明記して、ゆとろぎへ。
- サロンでトーク (○鑑) 鑑
「青柳有佳さんの海外ボランティア体験談」
2/11 (祝・木)、午後2時～4時。ゆとろぎ講座室1 (入場無料)。青年海外協力隊ほかでモロッコやドミニカで子どもたちに日本語や日本の文化を教えた青柳有佳さんをゲストに招いて、海外ボランティアで経験した貴重な話をお聞きます。

●サイエンス・シアター (○鑑) 鑑
「草むらの宇宙」

- 2/27 (土)、午前10時～正午。ゆとろぎ小ホール (入場無料)。ゲストに昆虫写真家・栗林慧 (さとし) 氏を迎えて、独自に開発したマクロレンズを通して観る、ミクロの世界の不思議な面白さをお聞きます。

羽村市文化協会

サロンコンサート

- 「琴の調べ」
1/10 (日)、正午～12時40分。ゆとろぎロビー (入場無料)。出演は雅の会、羽村三曲会ほか。開催日時は変更される場合もあります。
- 「声楽 テノール独唱」
2/20 (土)、正午～12時30分。ゆとろぎロビー (入場無料)。出演は小岩井雅人氏。日本の歌を中心に独唱。

◎第8回はむら音楽祭

- 「世界の音楽めぐり」
2/7 (日)、開場午後12時30分・開演午後1時。ゆとろぎ大ホール (入場無料)。羽村市音楽連盟に加盟する音楽団体・サークルが一堂に会して、世界の民謡や各国を代表する曲などを歌と演奏で発表。メドレーで世界を巡ります。

羽村市図書館

ボランティア養成講座

- 「ストーリーテリング」 (全4回)
1/22・29・2/12・26 (全金曜日、午前10時～正午。図書館本館ボランティア室。講師・平塚ミヨさん (ぐにたちお話の会)。
「昔むかし、あるところに…」
昔から語り継がれてきたおはなしは、子どもたちの心を養う糧となります。おはなしを覚えて語るストーリーテリングを学んでみませんか。〈対象〉学校や地域の子どもが集まる場所、おはなしに携わるボランティアをする予定のある方。
※一時保育あり (1歳半～未就学

はむすぽ

- とん汁とスモークチキン作り
1/23 (土) 午前9時～午後2時。堰下レクリエーション広場。先着20名 (小学生以上)。会員1000円・ビジター1200円。日程は変更される場合があります。詳細は「はむすぽ」へお問合せください。

市民イベント

- 市民団体・グループが主催するイベントをご紹介します。イベントの内容や一時保育については各問合せ先にご確認ください。
- パソコンなかまのパソコン講座
○名刺の作成
1/8・15・22・29 (金)
○封書宛名印刷
2/5・12・19・26 (金)
○シールラベル印刷
3/5・12・19・26 (金)
いずれも午前クラスか午後クラスのどちらかを選択。ゆとろぎ講座室2。〈問合せ〉並木 ☎ 042-555-1489

子ども芸能体験ひろば

- 小中学生を対象にした、寄席や邦楽日本舞踊などの日本の伝統芸能を身近に体験し鑑賞するイベントです。参加には事前申込みが必要です。詳細は「広報はむら」もしくは「ゆとろぎイベントガイド」をご参照ください。主催／東京都・東京都歴史文化財団・こども芸能体験広場実行委員会。共催／羽村市教育委員会。
○開催日 2月28日 (日)
体験プログラム 午前10時～鑑賞プログラム 午後2時30分
○会場 ゆとろぎ大ホールほか
○入場無料

ゆとろぎ クラブ

「ゆとろぎクラブ」のコーナーはゆとろぎと市民のみなさんをつなぐ紙面スペースです。ゆとろぎの裏話やちょっとした話題をお伝えします。市民のみなさんからの投稿あるいは情報の提供も歓迎です。気軽に応募ください。応募は、封書・はがき・FAX・メール (s706000@city.hamura.tokyo.jp) でゆとろぎまでお送りください。

第 40 回を迎えた羽村市文化祭が盛大に開催されました



(撮影／藤原忠)

去る 10 月 17 日から 11 月 8 日まで、川期にわたり、『第 40 回羽村市文化祭』が開催されました。

毎年秋に全館を使って開催される文化祭は、羽村市文化協会が主管し、市内生涯学習サークルの成果が一堂に集結する一大イベントです。40 回目の節目を迎えた今回、参加団体数は 70 を超えました。趣向を凝らし、丹精込めた美術・工芸・手芸、写真の作品展示、立派なステージで披露する音楽や踊りの晴れ舞台、コソコソと学び、深めてきた俳句や短歌、写経、篆刻、連鶴…。ジャンルは多岐にわたり、就学前の子どもから大正生まれの高齢者まで、「打ち込むもの」を持つ人々の幸せが全館にあふれていました。

「何か趣味をもちたい」「地元で友人を作りたい」と思いながらきつかけがつかめずにいる方、来年の文化祭にはぜひ足を運んでみ



(写真提供／田村好氏 (羽村市文化協会))



てください。歌でも絵でも踊りでも、サークルごとに個性があります。「あ、この感じ、好きだな」と思ったら直接メンバーに話しかけてみましょう。その一歩を踏み出すことで、新しい世界が拓けてきます。ゆとろぎはだれにでも開かれた学びの空間です。



11 月 7 日 (土)、文化祭で賑わうゆとろぎのレストラン「コナモーレ」で結婚パーティーがありました。この日ご結婚されたのは、新郎の高橋さんと新婦の萩本さん。両家のご家族が囲んだテーブルには、お二人の新たな門出を心から祝福するアットホームな雰囲気溢れていて、ゆとろぎを訪れた人たちもお祝いの微笑みを贈っていました。「コナモーレ」の話では、結婚パーティーは初めてだとか。こんな利用法もちょっといいかもしれませんね。新郎新婦さん、末永くお幸せに！

【担当者のひとり言】

●小規模ですが、ゆとろぎの情報発信についてアンケートを実施しました。貴重なご意見をお寄せくださったみなさまに感謝。(えくぼ)

●これまでの経験を生かし、来年度企画を立案中です。ゆとろぎへ来て下さる皆様、私たちの元気の「源」です。(関沢)

●ここ 2、3 日冷え込む日が続く、いよいよ冬到来かと覚悟したら、街路樹も色づいている。皆様のおすめ紅葉狩、ベススポーツはどこですか？(ヒゲタ)

△来年、ゆとろぎは開館 5 年目を迎えます。開館前のドタバタを含めると、あつと言った 6 年でした。これから私も自分の生涯学習に真剣に取り組もうかと思えます。またいつか、どこかでお会いしましょう。(ヒラタ)

■芸術鑑賞部会に沢山の新人をお迎えすることができました。市民の皆さんにより一層喜んでいただけるプラン創りが楽しみです。「ハイ！イラッシャイ、イラッシャイ」(平原)

△激動の 1 年が終ろうとしています。不安定な世相のときこそ芸術文化の高揚が必要かと考えますが、いかが？(ふくさ)

♣産業祭、体育祭、文化祭などで収穫を味わった後は来年の仕込みです。せわしい中でもあれこれと楽しい「事業仕分け」に心が躍ります。(藤原)

◇情報発信のアンケート、予想を超える認知度。よりいっそう市民の皆様へ求められる情報の発信に努めなければと、心新たに。(古澤)

♡あつという間の 1 年でした。沢山の人の出迎え、貴重な経験ができました。市民の会員の皆様、事務局、職員の皆様に感謝、感謝です。(堀)

▼一歩先行くゆとろぎと市民の会、今年も暮れを迎えました。多くの知恵とご奉仕がゆとろぎの特色を一層鮮やかなものにして、皆さんから注目を集めています。皆様どうぞ良いお年を！(村山)

◇循環型学習の「循環」について考えてみました。循環するものは、人と物事(芸・技・知識)の他に、付加価値ある情報、必要なお金、そして、相手を大切にする「仁愛」も含まれると思うようになりました。(山本)

無断転載を断ります。
Copyright © 2009 by YUTOROGI
All rights reserved.

ゆとろぎ通信

2009 年 12 月 1 日発行 (通巻 15 号)

Vol.7

発行 ■ 羽村市教育委員会
企画 ■ 羽村市生涯学習センターゆとろぎ
編集 ■ ゆとろぎ協働事業運営市民の会
〒205-00003
羽村市緑ヶ丘 1-11-5
☎ 042 (570) 0707
FAX 042 (570) 6422
http://www.hamura.tokyo.jp

編集 ■ 江久保千英・関沢和代・長尾晃・日下田まや・平田栄一・平原克巳・福佐健二・藤原忠・古澤義隆・堀茂子・村山利夫・山本豊
羽村市生涯学習センターゆとろぎ
写真 ■ 平田栄一・藤原忠・村山利夫

協力 ■ 羽村市文化協会
羽村市図書館
はむすぽ

印刷 ■ ニオフセット (株)
〒190-1222
西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原 5-7
☎ 042 (556) 1105